

若狭町 議会だより

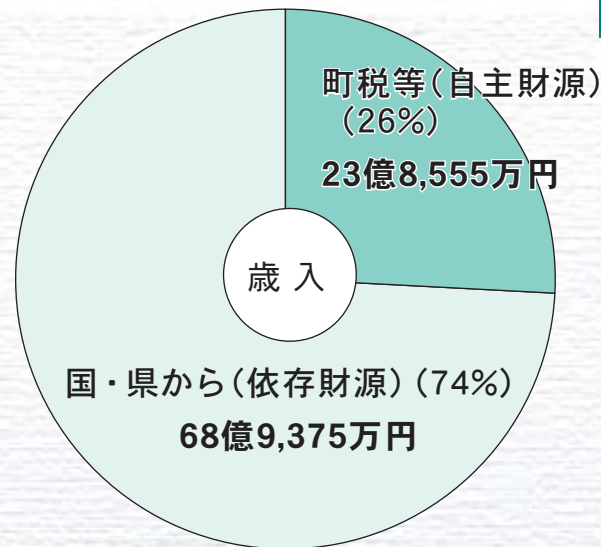


傍聴者の声		P 12
議会の動き		P 12
9人がたずねました		P 7
一般質問		P 11
条例改正等		P 7
議員賛否一覧		P 6
平成21年度の補正予算		P 6
常任委員会報告		P 4
平成22年度の予算		P 2
3月定例会		P 3

もくじ

平成22年度の予算 ワンポイント

一般会計歳入歳出 92億7,930万円



扶助費

生活保護費、障害者支援など、
社会保障関係にかかるお金

7億2,498万円

子ども手当・児童手当 2億8,183万円
子ども医療費助成 5,498万円

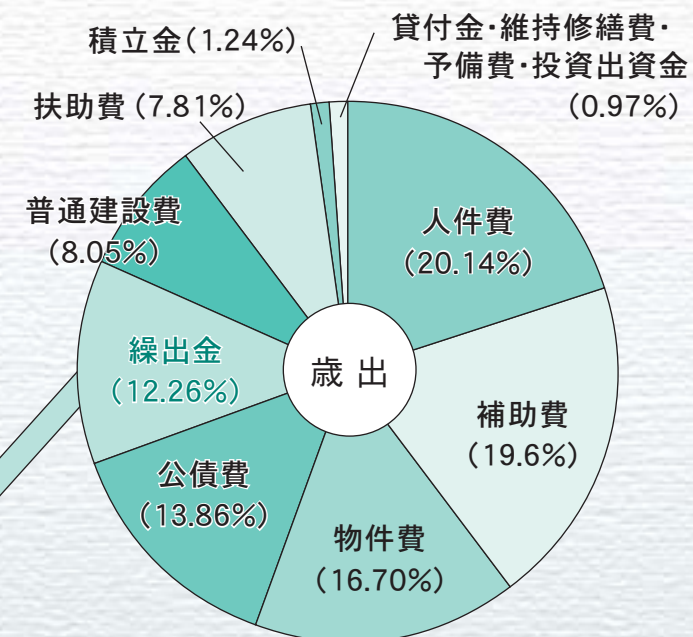
普通建設費

道路や公園、学校の建設や改修、
用地の購入にかかるお金

7億4,669万円

鳥獣処理加工施設建設 1億1,024万円
鳥獣害対策 1億2,700万円

子どもの
医療費助成が
中学校卒業まで
延長



公債費

町の借金を返すお金

12億8,589万円

22年度末の見込残高(137億2,820万円)

物件費

業務委託や物品購入、
光熱水費などにかかるお金

14億9,098万円

★新事業

原材料支給事業 500万円
スマートインター調査 790万円

補助費

一部事務組合や各種団体に
支払うお金

18億1,841万円

主に…

消防へ

・若狭消防 1億8,108万円
・敦賀美方 2億 334万円

病院へ

・小浜病院 1億3,487万円
・レイクヒルズ 1億2,355万円
・上中病院 9,500万円

ゴミ処理施設に

・上中地域 6,407万円
・三方地域 2億8,932万円

ゴミ処理施設の運営や作業委託

・クリーンセンターかみなか 1,538万円
・収集運搬費 6,269万円

上中焼却場跡地利用 5,015万円

その他 572万円

鳥獣処理施設の建設が
始まるんだね？
柵の設置も1億を
越えているんだ！

でも思ったより、
社会保障費や
建設が少ないね。

いやいや、その多くは特別会計にお金
を繰り出しているから少なく見えるんだ。
でも、建設費は今年は確かにぐんと減ったね。

特別会計・企業会計

会計名	繰入金	年間予算	会計名	繰入金	年間予算
国民健康保険会計	7,544万円	16億7,545万円	漁業集落排水処理	1,761万円	3,654万円
老人保健会計	7万円	14万円	町営住宅等	4,503万円	1億4,771万円
後期高齢者医療	4,426万円	1億7,240万円	土地開発事業	3,257万円	3,346万円
直営診療所会計	394万円	967万円	水道事業会計	1,624万円	1億9,925万円
介護保険会計	2億3,045万円	14億5,374万円	工業用水道事業	296万円	3億4,256万円
簡易水道会計	587万円	1億1,989万円	上中病院事業	再掲9,500万円	8億 695万円
農業者労働災害	0円	273万円			
農業集落排水処理	2億5,090万円	3億9,512万円			
公共下水道事業	4億3,116万円	5億5,887万円			

工業用水道は、給水能力を上げるため、
送水設備の改良工事を、
3億円かけて行います。

今年から、住民の力でちょっとした修繕
などをしたとき、その原材料費が支給
されるよ。各集落一年度中に上限30万
だから、集落で取り組むといいね。
ここには書いてないけど、集落などで
取り組む先進的なソフト事業にも事業費
の80%上限20万支給の事業もあるよ。

ミスターさん！
今年度の予算が
決まったね。

そうだね。
ちょっと
のぞいてみよう。

人件費や補助費は
今までと大きな
変化はないね。

ミスターさん。
ゴミの処理ってすごくお金が
かかるんだね。

そうなんだ。
住民一人1日当たり
88円かかる
計算だよ。

予算決算常任委員会

主な質疑応答

問 消防署上中分署の今までの経緯と今後の方向性は。

答 平成17年に新築計画を白紙に戻した。その理由は嶺南広域での消防組合統合の話が持ち上がり、その場合の上中分署の役割を決めた後、建物の構想を計画する予定であった。現時点では、統合の話が進まず、一方、上中分署は老朽化が著しく、早急な建て替えの必要性に迫られた。消防施設の整備に關しての消防組合の基本的な考え方は。

問

答 建物等は各市町で整備する。救急車の購入については、若狭消防組合は組合が負担するが、敦賀美方消防組合は各市町で負担するなど若干形態が異なっている。

問 福利厚生費を管理職等を除く職員組合に補助しているが、問題はないか。

答 また、他の市町はどうしているのか。

問 おおい町は全職員を対象とした親睦団体に助成しており、小浜市は組合と親睦団体があり、親睦団体に助成している。若狭町の方法について検討するので時間がほしい。

答 スマートインターの説明を。

問 当初案から二転、三転してきたが、少し具体的になってきた。パーキングとスマートインターで進みそうである。金額的には身の丈にあった額、総事業費は5億円程度で国の補助金を半分見込んでいる。

答 原材料支給事業は、一集落30万円を限度として

いるが、十数戸の集落も二百数十戸の集落も同じなのか。

問 戸数に關係なく各集落単位で進める。

答 鳥獸の利活用、最悪でも肥料に出来るのではない。

問 肥料については県土地改良連合で検討された事があるが、動物の特性（例えばBSE問題）等を考えると難しい。また、6つの市町の連携事業であり、調整に時間もかかる。

問 道路でセンターラインの消えている箇所や、ストップ線の消えている箇所、舗装の傷んでいる箇所がある。管理を徹底してほしい。

答 職員も自動車に簡単な材料を積み込み、気がつけば補修をしている。また、ラインについては公安委員会との協議も必要である。今後とも十分注意し管理していく。

問 一般廃棄物処理事業で、1千50万7千円の消耗品とは。

答 生ゴミ袋とバケツ等である。生ゴミを堆肥化する。



試行中の生ゴミバケツ

るために、平成二十一年度に館川区で試験的に行ったところ、生ゴミとして出される量が5割ほど増えた。

問 これを今年度さらに拡げて、鳥浜区、三方区でも試験的に行いたい。

答 三方地区の福祉バス、コース変更の希望が多いので変更できないか。

問 旧国道は狭いので通る事は難しい。陸運局との協議も必要になるが、できる部分から取り組んでいきたい。

問 町内で保育園と保育所の名称があり、園、所の統一はできないか。

答 前向きに検討する。

問 学校給食に地場産のものを活用しているか。

答 エコファームを通じ、町内のものを調達している。野菜は100%、魚は漁協、米は経済連を通じて購入している。

問 三方診療所の医師はどうなっているのか。

答 在宅医療に關心をお持ちの医師で、来町いただけるようお願いしている。

問 結論はもう少し先になる。

答 上中病院の給食用の光熱水費は、業者に負担させるべきだが。

問 現時点での契約は現有施設を利用してとなっている。次回契約時に検討する。



総務産業建設常任委員会

条例の制定、改廃8件、指定管理者の指定に関する件1件（三方観光物産センター）を付託され審査。

いずれも委員全員の賛成により原案可決すべきものと決定しました。

○職員の退職に係る退職手当審査会を設置する条例の制定

主な質疑応答

問 退職後、懲戒処分に該当するような行為が発覚しても、従来は、退職金の支給制限や返還命令等の処分がでなかったのか。

答 退職手当支給条例の改正により、そのような処分ができることとなり、必要な事項を調査審議する機関として審査会を設置するものです。

○若狭町行政組織条例の一部改正

主な質疑応答

問 行政改革は、本来、課を減らし、住民がわかりやすくするのが大事。今回課が増えた理由は。

答 企画部門は本来ならば、二つも要らないが、広域的な考え方の情報収集に当たるのが企画情報課。少子高齢化等にぎめ細かく配慮し、みんなでつくるみんなの町の政策をおし進めていくのが政策推進課。また、農林とい



上中サービス室

う言葉は消えたが、農林漁業を商工業も含めた産業と捉え、農商工連携の中で特産の振興、第一次産業の底上げを図りたい。

問 常神の人から福祉の相談等上中まで行かなければならず、大変だという声を聞くが。

答 上中サービス室は役場全体の受付窓口となっている。健康課、福祉課等の業務は三方庁舎でも受付できるようにしていきたい。

問 役場は、住民が交流する場でもあると思うが、入りにくいという声、入ってから第一印象が良くないといった声、また、どの課へ行けば良いのかわかりにくいといった声がある。

答 総合的な窓口設置はそのまま置く。課の配置等入りやすくなるよう、改装も含め検討している。

教育厚生常任委員会

条例の制定1件、改正3件、継続審査の請願1件を審査しました。

それぞれ次のように決定しました。

○若狭町佐久間記念交流会館条例の制定

会館設置についての条例。条例中に「ほか、この条例の施行に關し必要な事項は、教育委員会規則で定める」とあり、教育委員会規則（施行規則）案や、より具体的な管理の仕方について質疑がやりとりされた。



佐久間記念館交流会館

るために、平成二十一年度に館川区で試験的に

行ったところ、生ゴミとして出される量が5割

ほど増えた。

問 これを今年度さらに拡げて、鳥浜区、三方区でも試験的に行いたい。

答 三方地区の福祉バス、コース変更の希望が多いので変更できないか。

問 旧国道は狭いので通る事は難しい。陸運局との協議も必要になるが、できる部分から取り組んでいきたい。

問 町内で保育園と保育所の名称があり、園、所の統一はできないか。

答 前向きに検討する。

問 学校給食に地場産のものを活用しているか。

答 エコファームを通じ、町内のものを調達している。野菜は100%、魚は漁協、米は経済連を通じて購入している。

問 三方診療所の医師はどうなっているのか。

答 在宅医療に關心をお持ちの医師で、来町いただけるようお願いしている。



管理は「若狭町みかた語り部」に組織として業務委託。会館におけるガイドは無料、入館料は無料、有志者が協力を投入できる設備を置く等を確認した。委員全員の賛成により、原案可決すべきものと決定しました。

○若狭町住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正

「住基カード」を一部他市町でも図書カードとして利用できるようにする。

問 委員賛成多数により、可決すべきものと決定しました。

○若狭町公民館条例の一部改正

2つの三方公民館のうち教育委員会事務局がある方を「若狭町中央公民館」と改称。

問 委員全員の賛成により、可決すべきものと決定しました。

○若狭町子ども医療費助成に関する条例の一部改正

医療費無料を中学校卒業までに延長。委員全員の賛成により、可決すべきものと決定しました。

□「現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書」の提出を求める請願

前回より継続審査となっていたが、反対多数により、不採択とすべきものと決定しました。（理由）新政権の制度改革を見るべき。

平成21年度補正予算

国の経済対策

『地域活性化・きめ細やかな臨時交付金』
1億4,378万円
が交付され、以下の事業に充てられます。

主な事業

○庁舎等修繕	1,911万円	○各保育施設修繕	363万円
○きららの湯施設修繕	550万円	○各小学校施設修繕	8,704万円
○三方駅駐輪場等整備	300万円	○縄文博物館天井修繕	833万円
○クリーンセンターかみなか修繕	571万円	○町道整備	1,662万円
○「泉」ボイラー修繕	1,400万円		

特別会計・企業会計補正

今回は主に、1年間の精算の為の補正を行いました。

会計名	補正後	会計名	補正後	会計名	補正後
国民健康保険会計	16億3,358万円	介護保険会計	14億3,026万円	工業用水道事業	5,006万円
老人保健会計	562万円	簡易水道会計	1億6,025万円	公共下水道事業	6億6,381万円
後期高齢者医療	1億7,280万円	農業集落排水処理	4億7,077万円	水道事業会計	2億4,871万円
直営診療所	1,076万円	漁業集落排水処理	3,906万円	上中病院事業	7億8,937万円

条例の制定、一部改正に
ついでの14議案を可決

(主な制定、改正条例)

- ◆若狭町行政組織条例の一部改正
行政組織の機構改革に関するもの
- ◆若狭町企業振興基金条例の制定
企業振興条例に規定する助成金の財源積み立てに関するもの
- ◆若狭町佐久間記念交流会館条例
佐久間記念交流会館の設置及び運営管理に関するもの
- ◆若狭町住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正
住民基本台帳カードによる図書館利用範囲の拡充に関するもの
- ◆若狭町一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
一般職の職員の時間外勤務手当の支給割合の引き上げ等に関するもの
- ◆若狭町公民館条例の一部改正
公民館の名称・所在を明確にする
- ◆若狭町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正
助成対象年齢の引き上げ
- ◆若狭町公営住宅管理条例等の一部改正
公営住宅から暴力団員の排除にかかる措置に関するもの

請願(継続審査分)1件を
不採択及び発議4件を可決

◆現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願については不採択としました。

- ◆選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対を求める意見書
- ◆核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書
- ◆永住外国人への参政権付与に対する意見書
- ◆子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
この4件の意見書を可決提出しました。

教育委員会委員の任命同意

5月13日をもって任期満了となる辻義次氏に代わり、瀬尾佳彦氏(右屋)を委員として同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦に関する答申

6月30日をもって任期が満了となる岸本清文氏(下吉田)を、引き続き推薦しました。

一般質問

(文責：質問者本人)



清水利一 議員

清水 制度説明会の参加状況と今後の周知は、
課長 各説明会で延べ1千100名の参加状況で、更に担い手農家研修会等、段階的な開催で周知を図っていく。
清水 収穫減少になればその差額の助成で生産意欲の減退につながり、悪影響が想定されるが、
町長 これまでの推移どおり、良質米生産、経営規模の拡大、集落営農組織の育成、さらには低コスト稲作の推進等で所得につなげていきたい。

清水 加入申し込み、交付金申請がどのような方法で実施されるのか。
清水 新規需要米の米粉用米の販売指導法策は。
町長 団地加算金がなく、別途、激変緩和措置を県に要請中。
町としては麦・大豆の1畝以上の団地化で10万円当たり5千円の補助をする。

清水 今日まで転作を実施してきた集団化の団地加算金の助成はあるのか。
清水 誘客や受け皿の整備、拡充の取り組みと共に、若狭町観光振興ビジョンとの一貫性は。
町長 路線近辺等のPRと周辺道路の整備要素、観光振興ビジョンを基軸に打ち出していきたい。

農家戸別所得補償制度について どう対応していくのか

早期情報収集と周知に 細心の注意を払おう

課長 まだ正式な方法が未定だが水稲共済細目書様式で加入の意思表示をいただきたい。

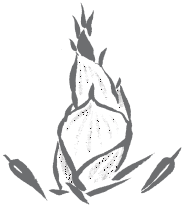
若狭自動車道の無料化について

清水 誘客や受け皿の整備、拡充の取り組みと共に、若狭町観光振興ビジョンとの一貫性は。

議員賛否一覧

これ以外の議案は、全員賛成で可決しました
議長は採決に加わりません ○賛成 ×反対

議案等名	採決月日	霜中茂実	藤本佳司	柘原直仁	北原武道	松岡喜一	福谷洋	藤田美穂	武田敏孝	小堀友廣	清水利一	藤本勲	大塚季由	中島正昭	小堀信昭	中村正彦	小林和弘	増井九右衛門	松本孝雄
若狭町住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正について	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若狭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若狭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度若狭町一般会計予算	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
平成22年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計予算	3/23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○
現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願の不採択の件について	3/23	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書の提出について	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
永住外国人への地方参政権付与に対する意見書の提出について	3/23	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
子ども手当財源の地方負担に反対する意見書の提出について	3/23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○





小堀 信昭 議員

火災報知機の設置に補助拡大を

町長

更なる補助は考えていない

小堀 平成23年5月ま

でに火災報知機の設置が義務化されたが、まだまだ設置が進んでいない。逃げ遅れを防ぐためにも一戸当り3個は必要である。

補助拡大ができない。

町長 警報器の設置義務は新築では18年6月から、既存住宅では23年6月

より一世帯当り1個千円の助成金を出している。県内では永平寺町と当町だけである。更なる補助は考えていない。

早期設置では集落で一括購入の形も考えていた

課長 住民税の扶養控除では15歳までの33万円が廃止、16～22歳までの45万円が33万円に減額、所得税では15歳までの38万円の控除が廃止、16～18歳までの控除額63万円が38万円に減額となる。あくまでも参考資料であるが。

一例として収入500万



火災報知機



増井 九右衛門 議員

地域活性化・経済対策は地元商店から取得しなければ、この趣旨に沿わない、備品等の納入状況は

町長

経済危機対策分の町内業者分は28件6千664万円、町外業者は5件1億6千250万円

新しい人事評価制度を試行的に実施。

自分で設定した目標の達成度合いや、町職員としての能力等を自己評価し、職員自らの主体性の引き出しを目指している。

この制度を充実させ職員の能力開発人材育成に努める。

職員の退職年齢について

増井 嶺南の2市とおおい町は60歳定年制と聞く。基礎年金の受給開始年齢も65歳となる中、改革に燃える職員に一年でも長く働いてもらうため若狭町も60歳定年制の導入を。



上中駅前

狭あい道路整備に対する地元負担金等の考え方

町長

地元負担金制度にご理解を

める。

現在の地元負担金制度にご理解願いたい。

町長 本町では、一部を除いて都市計画区域が設定されている。

住宅が建てられ、緊急時の消防車や救急車の車両がスムーズに通行し、その活動が出来る、積雪時でも安全な幅員を確保できる道路の整備を推進している。

地元負担については、旧三方・上中町の町単独道路改良に係る地元負担金に大きな隔たりがあり、(上中の負担大)合併時調整を行った。

しかしながら財政負担が大きくなった事と、建築基準法、都市計画法がクリアされる道路整備行政を進めるために(4メートル以上の道路)、



狭い集落内道路



藤本 佳司 議員

一部事務組合等事務の統合は

町長

今後の大きな課題研究していく必要有り

藤本 若狭町が合併に当たって、数多く協議し

すり合わせなければならぬ点があった。主な一部事務組合(公立小浜病院組合、敦賀美方消防組合、若狭消防組合、美浜・三方環境衛生組合)の今年度予算での負担金は、約10億5千5百万円で一般会計の11・4%を占めている。これらの事務を1年でも早く統合することにより、現状の二重所帯による経費の無駄を削減し、財政負担の軽減を

考えるべきである。今回は一般廃棄物処理における統合について伺う。

施設では処理能力が決まっているが、余力の施設がある事や施設の耐用年限が来ている事等考慮し、関係集落等の理解も

得なければならぬと思うが、事務の統合についての考えは。

町長 現在、二系統での廃棄物の処理方法では非効率であると承知している。

一つ一つの諸問題に係自治体や組合と共に検討を重ね、特に経費の削減に取り組むと同時に、今後は広域的なごみの処理問題も視野に入れ、総合的に勘案し検討を進める。

県出先機関の管轄は

藤本

現在、敦賀、小浜、若狭、二州などに分かれており、事務の効率が悪いのではないかと。町民の利便性や経費等も考



エコクル美方

慮し若狭町としての考えは。

町長 不効率な面もあるが、町民の皆さんの本当の利便性を考慮したい。

県が自ら行政課題の一つとして取り組むべきであり、今後県の動向を注視したい。



藤本 勲 議員

藤本 幅員4メートル未満の狭い道路は、救急車、最近大型化してきた福祉関係車両の乗り入れが困難な状況にあり、災害時の避難など多くの危険性や問題を抱えている。

平成20年4月に町単独道路改良に係る地元負担金の改正があり幅員が狭い道路ほど地元負担率が大きくなる改正がなされた。

いたる所で道路の改修を待ち望む声があり、生活利便性を向上するような道路整備を急ぐ事が最も大切で、狭い道路ほど地元負担金を多く徴収する考え方には理解できない。

4メートル未満の地元負担率の見直しを強く求



小林 和弘 議員

野木小学校の屋根修繕を早急に

教育長

夏休みを目途に完成させる

4月からの組織改革について

小林

小林 野木小学校の体育館は雨漏りが始まって一年半以上経つ。夜雨が降って翌朝上がっている時は床が濡れており、児童が走り回って転ぶ場合があり、ケガをしないかなど、大きな問題を含んでいる。

今までの努力は認めるが直っていないことは何もしていないのと同じ。早急にできないか。

教育長

今まで県を通じて予算要望してきたが耐震化事業が優先されており採択は厳しい状況にあった。しかし今回臨時交付金事業が採択される目途がついたので、早急に工事着工し、夏休みを目途に完成させる。

辺の地域づくりを総合的に判断し博物館の活性化につなげるため、専用の部署を設けた。



野木小学校体育館

②環境安全課がありながら、歴史文化課の中に縄文環境室を設置するのは環境行政の三元化で業務のすみ分けができていないのではないかな。

町長 新しい時代に対応するため機構改革が必要となった。

①課長職は一名増だが、補佐職2名減、職員総数でも4名減でスリム化が進んでいる。
②自然公園法や名勝三方五湖の規制の中、五湖周

文化部門の教育委員会の補助執行は適正か

町長

現状が町にとって一番良い形と考える



藤田 美穂 議員

藤田 文化振興課と文化財室は教育委員会（以下、教委）の補助執行となっているが、現実には教委をおさなりにし、文化が産業化していると思う。また、生涯教育の場として法で位置づけられた公民館に政策推進室が入り込んでおり、自治活動の推進に比重が置かれる状態になっている。

文化とスポーツに関しては、条例で定めれば町長部局で管理運営できるのに、若狭町はあえて条例で教委の補助執行に留めながら、教委の位置を不確かなものになっている。過疎化・少子高齢化の町にとっては、産業と教育文化のすみ分けが、町の一貫した事業推進の障害になることもあるだろうが、人材育成である生

町長 毎月、教育行政連絡協議会を開催し、教育長、教育委員長をはじめ教委関係者と、副町長、文化関係課長が出席して施策の決定をし、内容を定例教育委員会で逐一報告している。

また、文化施設ごとに設置した審議会や協議会には、教育関係者が委員として入り、意見を反映できるようにしている。

平成20年度策定の文化振興ビジョンでは、新しい芸術と文化の創造について、町民参加と行政全体での取り組みの道筋を明らかにしている。これをもとに、教委と連携しながら町長部局で強力に推進していきたい。

一方国の中教審において「首長と教委の権限分担の弾力化」が示され、多くの自治体が文化行政を首長直轄部局に移している。

国では、新しい時代に対応し検討しており、教委のスリム化も求められている。反面、学校教育はもとより、社会での教委の指導責任は増大している。今後の教委活動がより充実するよう配慮して行く。

宮内和也さんの真相究明を願う集会、6月には24万人の署名を政府に提出、11月7日には鯖江で国民大会が開催された。今年の集会の予定は。



小堀 友廣 議員

宮内さんの真相究明を願う集会の今年の予定は

町長

秋に集会を盛大に開催したい

小堀 昨年4月24日に、宮内和也さんの真相究明を願う集会、6月には24万人の署名を政府に提出、11月7日には鯖江で国民大会が開催された。今年の集会の予定は。

町長 嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会の会長を務めている。今年も国・県への要望や署名活動に全力を傾ける。宮内和也さんの真相究明を願う会は、秋に盛大に開催したい。

若狭町未来を見据えた学校づくり検討委員会答申への対応は

小堀 答申の中には、役場や学校の空きスペースを利用して理科教材センターを、との提言があるが。

教育長 小学校の理科の授業の充実を図るため、理科支援員の配置、備品・設備の充実、教員資格向上を図る。また、応用力を育て、実生活に活用できる豊かな人間性を育てる教育を目指す。

偉人顕彰の方向性は

小堀

佐久間艇長と松本庄左衛門は命がけで、親孝行、他人を思いやる心、国を思ふ心を表した。その心を後世に伝えることは我々の責務である。特に殉難百



のこすことば文学賞受賞者

捕獲されたイノシシとシカ 焼却よりも利活用を

町長

灯油による焼却が効率的・効果的

町長は、若狭町は『環境宣言の町』『自然環境と共生する施策を展開する』と盛んにおっしゃっている。また縄文博物館は「地球を破壊しつつある現代文明に対して『共生と循環の世界観』を発信する」ことをコンセプトにしている。

なのに、博物館からトンネルを一つ越えると、海士坂ではイノシシとシカを燃やして地球を破壊していることになってしまふ。

研究にはリスクも伴うが、金も人もつけて、利活用の開発に向けて本格的に研究をするべきである。

町長 処理については、今のところ灯油による焼却が最も効率的・効果的である。利活用は採算が問題である。検討するが、嶺南6市町の合意形成も必要である。

課長 活用についても基本計画の中でまとめる。

若狭町職員組合は互助組織か

北原

北原 町職員の福利厚生事業として、職員組合に対して町から補助金が出ている。しかし規約の上では、この組織は全職員によって構成されていない。補助の仕方を改善すべきではないか。

町長 本町の職員組合は労働組合的な組織ではない。職員の互助的な組織と位置づけて、活動費に助成している。

課長 今の活動内容からも互助的な組織であると感ずる。全職員という形については研究する。

一般質問

(文責：質問者本人)

議会の動き

1月15日	議会運営委員会	23日	議会本会議（閉会）
20日	議会活性化特別委員会	25日	佐久間記念交流会館竣工式
22日	農楽舎研修発表会	26日	三方中学校工口改修竣工式
27日	議会全員協議会		嶺南広域行政組合議会
27日～28日	嶺南広域行政組合議会研修会臨時会		敦賀美方消防組合議会
2月5日	福井県後期高齢者医療広域連合議会臨時会		福井県後期高齢者医療広域連合議会
7日	町立志式	28日	三方五湖一斉清掃活動
10日	美浜・三方環境衛生組合議会	29日	若狭消防組合議会
15日	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会	30日	公立小浜病院組合議会
16日	議会全員協議会	4月7日	広報特別委員会
23日	議会活性化特別委員会	12日	議会運営委員会
24日	福井県町村議会議長会総会	14日	広報特別委員会
25日	公立小浜病院組合議会	15日	議会全員協議会
27日	若狭消防組合議会	19日	広報特別委員会
28日	町人権意識高揚大会		
3月1日	町環境フェア		
2日	議会全員協議会		
4日	議会本会議（開会）		
8日	梅の里保育園竣工式		
10日	議会本会議（一般質問）		
11日	教育厚生常任委員会		
15日	総務産業建設常任委員会		
16日	予算決算常任委員会		
17日	予算決算常任委員会		
18日	議会全員協議会		



梅の里保育園竣工式



デリック大佐に花束をわたす中村宜矢君

女性ネットワークの方々が一般質問（3月10日）を傍聴しました。そのうち4人の方に体験記をお願いしました。

（それぞれ文中の一部を抜粋編集・文責は広報特別委員会）

K. K. さん
テレビで拝見していましたが、テレビでは伝わってこない厳粛な空気に驚きました。私たちの生活が今以上によくなり、「住みたくなる町」をつくるために頑張っていると感じました。傍聴させていたでいて、今まで以上に町政に関心を持つことができました。

Y. S. さん
傍聴案内を知り、初めて参加させていただきました。いよいよ議会が始まると、場内がシーンとして緊張感を覚えました。議員さんが、コスト面とか、環境面とか、あらゆる方向から情報を得て質問される。それに対して町も、誠意を持って答弁される。その様子を見せていただき、こうして一つの課題を決定していくのだと分かりました。

K. Y. さん
傍聴席に座ったとき、とても神聖なシーンと張りつ

議会（一般質問）を傍聴して

めた空気を感しました。各議員さんが活発に質問されている姿を見て、なにげない私たちの日常生活や変化する町の政治が、このようにして決まってくるのかと、感心しました。身近な問題に関する質問や答弁が、とても気になり、これからどんな結果になっていくのか楽しみにしています。

S. Y. さん
若狭町に嫁いではや三十余年。ネットワークから議会傍聴の機会を得て、初めて役場三階の議場に入りました。町長さん、議員さんの熱心な意見を生で聴くことができました。ところで、今は国会の真ん中、テレビでは連日盛り上がりつつあります。若狭町議会は私たちのグループ以外に傍聴者があまりにも少なく、町議会は少し活気がないかな、などとついながら傍聴を終えました。